

# 令和7年度第3回学校運営協議会 議事録

日 時：令和8年2月27日(金)

9：15～9：45 授業見学

9：50～11：30 コミュニティスクール

会 場：視聴覚室

## [出席者氏名]

浅沼圭美(社会福祉法人新生会新生園施設長)

近藤嘉文(ふれあいランドいわて館長)

熊谷拓也(岩手県立療育センター事務局長)

佐藤 啓(矢巾町立矢巾東小学校校長)

菅原保之(矢巾町役場 福祉課長)

名取泰博(藤沢自治会自治会長)

佐々木四士美(矢巾2区自治会長)

工藤慎也(本校 PTA 副会長)

中野真幸(本校校長)

## [欠席者]

留場弘子(はつらつ狄森会事務局)

## [盛岡となん支援学校 職員 出席者]

副校長：小山芳克 青柳チカ 事務長：平澤清峰 総括教務主任：藤村利子 総務主任：浅里恵

[司会進行]：小山副校長

## 1 本校の授業見学

ⅡG 中 3-2 「自立活動・道徳」  
ⅢG 小 「自立活動・生活」 } 選択  
ⅠG 高 2-1 「音楽」バンド練習 全員案内

## 2 開会のことば(佐藤副会長)

令和7年度第3回コミュニティスクールを開催します。

## 3 校長あいさつ(中野校長)

学校運営協議会委員の皆様には年度末を控え、ご多用中のところ、ご来校いただき誠にありがとうございます。本日が今年度の総括としての開催となります。委員の皆様には次年度につながる学校評価、学校運営、そして本年度の熟議から生まれ育ってきたこと、次への展望など、本日盛りだくさんとなっております。学校の様子を見ていただく時間もとって、普段の学習の様子をご覧いただきました。

さて、これまで、熟議として「盛岡となん支援学校の学習の充実のために！地域のために本校ができること」途中からタイトルを変えて「YTプロジェクト！笑顔ワクワク大作戦」と題して熟議を行ってまいりました。私自身が何より「それいいね、やってみたい、楽しそう」と夢が広がる…と思える取組だったことが有難いことでした。ゆるく、きちんとやりすぎないことがいろいろな方向に舵をきれるし、息切れしない持続可能な取組になるのではないかと、普段から感じているところです。そして、関係する皆さま方にメリット

をもたらすことに自然につながっていけばいいなと思っています。

これまでの活動での成果と気づきを共有したいと考えております。皆様からご意見を頂戴しようと考えているところです。ぜひとも、忌憚のないご意見とご指導を賜りたいと存じますので、どうぞよろしくお願いいたします。

#### 4 会長あいさつ(名取会長)

今日は、見学させていただきありがとうございました。我々委員、少しでもとなん支援学校がよくなるようなお手伝いができればと思っているのでよろしくお願いします。

#### 5 協議・熟議

##### (1) 学校評価結果・・・「令和7年度 盛岡となん支援学校 学校評価」 資料参照

[小山副校長]

各評価における分析

##### ア 児童生徒

肯定的評価の割合が上位のものとしては

1番の『あなたは、学校で学習することが楽しいですか』については、肯定的評価の割合が94%となっています。4番の『先生はあなたに健康や命の大切さを教えてくれますか』、5番の『やりたいことを励ましてくれますか』6番の『地震や火事がおきた時、安全に身を守る方法を教えてくれますか』といったあたりは評価として高い割合になっていました。

逆に評価が低かったものとしては7番の『他の学校との交流及び共同学習が楽しいですか』でした。こちらは、69パーセントで昨年度は80パーセント以上ということでした。今後考えていく必要があるものと思います。

本校には寄宿舎があるので寄宿舎利用の生徒にもアンケートをとっています。

9番、10番、11番のところに書いてある内容については、おおむね満足しているとの回答でした。頑張ったこととか、できるようになったことなどについては8番のところに表記しています。○印は複数回答のあったものをまとめてあります。ご覧いただけたらと思います。

いろいろと評価の高い部分、低い部分とあるわけですが協力していきながら、安全、安心な環境を整えて教育活動に取り組んでいきたいと考えています。合わせて寄宿舎も生活を通して生活スキルを身に付けていると実感しています。さらに充実感が出るように進めていきたいと考えています。

##### イ 保護者

肯定的評価の割合が90パーセント台のものとしては9項目、80パーセント台のものは3項目ありました。

肯定的評価の割合が上位のものとしては

6番の『学校行事は、お子さんにとって充実したものになっていますか』は97パーセントでした。

12番の『学校からの通知表は分かりやすいものになっていますか』も97パーセントとなっています。8番の『担任は、ご家庭と十分に連携を図っていますか』も96パーセントという風な数字が出ています。逆に評価が低かったものとしては、14番の『ホームページの内容は充実したものになっていますか』では71パーセントから56パーセントにさがっていました。記述などもたくさん出てきていますのでその辺を加味しながら検討を重ねて充実していくように進めていきたいと考えております。

##### ウ 教職員

肯定的評価の割合が90パーセント台のものが多く中で逆に目立ったものが3番の②が79パーセント、3番の③が81パーセントでした。

これからも引き続き活動の充実を図っていかなければならないと改めて感じているところです。  
以上となります。ありがとうございました。

(2) 『YTプロジェクト!笑顔ワクワク大作戦』のふりかえりと来年度に向けて・・・資料(校報)参照  
ア パワーポイント資料での解説 (藤村総括教務主任の説明)

今年、『YTプロジェクト!笑顔ワクワク大作戦』という名前を子供たちが付けました。そして、この名前を付けたことで、交流というよりは活動ということで子どもたちにも先生たちにも広がっていったように思います。

今回は写真の表情や校報の方に載せた様子などを見てもらえれば、その表情から出ている思いが何か伝わるかと思いますが、言葉としてどう思っているのか、子供たちの声については来年度、報告したいと思っています。

① 児童生徒の声 (来年度1回目でお伝えします)

ア 小学部                   イ 中学部                   ウ 高等部

② かかわったみなさんの声

ア 療育センター障がい者支援部齋藤さん

昨年は体育館に3か月お借りしましたが、今年は10月から2月までたつぷりと借りることができ主に体育の時間に活動をしました。フレームランナーだけでなくバスケットボールをする車いすやバトミントン車など専用の車いすを5,6種類持ってきてくださって、子供たちにとっては夢のような体験ができました。下の段にある車いすは立てる車いすというもので、立てない人も立ち上がれるようになっているものです。経験した生徒は、自分で立って上にあるものが取れるということで不思議な感覚を味わうことができ「やばいなあ」と話していました。私もインターネットで調べたところ世界中にそのような車いすがあって、車いすも進化しているのを実感しました。県交通のバスの乗車体験も先生方からとても評価が高かったです。

齋藤さんから昨日届いたメールをここで読み上げたいと思います。

『となん支援学校都の関わりの中で、教育、療育、医療的ケアの難しさを感じることもありました。教育と療育、医療は本来、子供の成長を支える車輪であり、互いに支えあうことで初めて効果を発揮すると思っています。しかし、目標設定や支援方法の共有が十分でない場合、それぞれの取り組みが分かれてしまうような場面もあると思います。学校の先生方の取り組みは非常に素晴らしく療育センターが連携し、学びと育ちが一体となった支援をさらに具体的に形にしていく取り組みができたらいいなと感じました。』

齋藤さんには体育の時間に何度も何度も足を運んでいただき、実際に乗せ方などを教えていただきました。体育の活動では、どの子も参加できるようにルールを変えていけばいいんだと授業のワンポイントを教えていただき、ありがたかったです。

イ はつらつ狄森会さん

12月に行った藤沢自治会の昔遊びは、今年で4年目になります。

留場さんは本日欠席ですが、狄森会さんの感想をファックスで教えていただきました。

『文字盤を使って会話ができて良かった。折り紙を一緒に作って喜んでもらって良かった。傍から見ていただけでは分からないけれど、一緒に活動してみると、他の子供たちと何も変わら

ないと思う。偏見をもたないでこれからも交流していきたいと思う。』  
参加された皆さんから感想をいただき、ありがたいことだと思います。

ウ 矢巾町社会福祉協議会沼下さん

今年初めて、社会福祉協議会と活動させていただきました。11月に障害のある子どもたちを知ろうということでボランティア養成講座を開催して中学部と高等部の授業のボランティアをする取組をやっていただきました。小学部は結構、地域の交流がありましたが中高は少なかったのが対象としてやらせてもらいました。

中学部は校報のところにも写真が載っているのですが美術の授業でスチレン版画でクリスマスのポストカード作りを一緒に行いました。手先が不自由なので支援が必要なのですが、先生の数も少ないため、ボランティアさんが入り助けていただき良かったとのことでした。

高等部はモルックという北欧の方から入ってきたゲームがあるのですが、チームに入ってもらって一緒に対戦してもらいました。中学部の時はあんなに話さなかったのに、ボランティアさんたちとお話ししながらゲームをすすめているのを見、高等部になってコミュニケーション能力が高まるのかと思わせる光景を見ることができました。初めてのボランティアさんと円滑にコミュニケーションをとって作戦会議ができていました。

### ③職員の声

先生方の声ということでアンケートを取りました。小中高の職員107名ほどいるのですが42名の先生が回答してくれました。この数字を多いとみるか少ないとみるのかですが、私は忙しい中よくアンケートに答えてくれたと思っています。42名の中では、かわりがあったと答えてくれた方は81パーセントでした。児童生徒のためになった活動はどれかという質問は、いくらでもクリックしてもらうような形で行いました。

そうしたところ**チャグチャグ馬子**は矢巾町の行事で町内の学校や保育園などを回ってくれるのですが、これはすごくいいという回答がありました。**とんんの畑、名取さんの畑**についても多かったです。**フレームランナー**も高かったです。また環境が整備されると違うんだなあと思ったのがショッピングセンターが近くにできたことで、買い物学習などで出かけて行って活用しているということでした。基礎的環境整備が大事なんだと感じました。なかなか外に出かけていくことが少なかったのが良かったと思います。

来年度やってみたいと思うこととしての質問では、**県交通の乗車体験、矢巾町内の校外学習**としてショッピングセンターなども活用して学習したいとの意見がありました。その他に地域の方々のお力をお借りして、地域を探求するための学習なども面白いのでは。また**木製プランター**が現在6台ありますが、移動できるというメリットがあり教室に持ってきたり、体調の悪い子どもがいた場合には、外に出なくても近くに持ってきたりして使えるなど上げられました。使ってみてほしいかの質問には86パーセントが使用したいと答えていました。ともに作る活動もいいなということで地域の方の力をお借りして、例えば、車いすが安全に通れる歩道を授業で取り上げ、地域の方にも分かっていただく。そういった活動でこのプロジェクトが社会とつながりをつけていけたら最高です。

コミュニティスクールでは地域とともにある学校づくりを目指して、とんん支援が矢巾町の皆

さんにまずは知っていただくことが第一であると考えています。YTプロジェクトの活動は、児童生徒の教育活動の充実につながり、地域とはWinWinの関係であることを念頭に、またとなん支援で、一斉ではなく希望性であることも大事にしています。無理なく、細く長く取り組んでいくことが肝要であると思いますが、先生方から見て今後どんなことが充実していけばいいと思うか聞いてみると、YTプロジェクトを中心に組みんでいき、さらに充実させていくこと、畑のことや郷土料理のことなど地域に生きるマイスターとつながれるようにしてほしいなどありました。あと校報で学校の情報を収集したものを知ってもらうことが大事だという意見もありました。

東小学校との交流などもそれぞれの授業が第一なので無理のない形でやっていくことが大切だと思います。YTプロジェクト！についてこのアンケートで知ったという先生方もいました。

最後にコミュニティスクール全般についての意見として本校の生徒の変容としてⅡグループが減ってきていて、小学部は特にⅢグループが来年度は多くなります。そのため今やっていることもできることも変化していくことになると思います。

また、ここの校舎が学校であるということが分かりにくいということで、今年度PTAの保護者さん達の協力を得て、プランターに花を植えて学校脇の歩道に並べました。学校であることをアピールできるような活動として取り組みました。

校内のことですが初めて活動に参加する先生が担当できるような分かりやすさや負担にならないような工夫が大事との意見がありました。

まずはやってみようということで4年間やってきましたが、こうして初めてアンケートをとることで次の段階に向けた発信やこの取組の願いや思いを先生方に伝えたり、先生方の思いを聞いたりしていかなければならないと思いました。

#### 熊谷（育園センター事務局長）委員

全国の福祉拠点などの行って最新の車いすや福祉の情報なども仕入れていますので、来年度も交流を続けていけたらと思いますので、よろしく願いいたします。席を外します。ありがとうございました。（途中退席）

#### ④新たな取組はいつ芽が出るか（となんコミュニティ・スクール委員の挑戦！）

ア 校報の配付の拡大。矢巾東小学校に「校報となん」を配付（メール）した。藤沢自治会と矢巾2区の回覧板にカラー刷りでお知らせを回した。

これは、以前、委員さんからご協力をいただけるということで矢巾東小学校さんの一斉メールを使って配信することができました。また自治会の回覧板にも載せていただき去年からするたくさんの方々に見てもらえることができました。こんな学校だよということで種をまいたのでこれからどうなるのかなと思っています。

この学校を知ってもらうことで、たくさんの方々からご協力をいただきコミュニティスクールの良さを感じています。

イ 校内の情報共有は大事。

アンケートから校内での情報を共有することが大事だと思いました。東小との交流活動についても、それぞれの学習活動があって活動の願いがマッチしないと進んでいけないと考えます。

来年度は、校外・校内ともにズレがないようにしっかりしていきたいと思う。

ウ 地域が学校を支え、学校が地域の活力を育むという好循環になるかな？

校外の皆さんに校報を使ってこの学校のことを知っていただくことができてきたのでぜひ地域が学校を支え、学校が地域の活力を育むという好循環になるように。『めざせ、スクール・コミュニティ』という風に、来年度また詰めていけたらと思っています。ゆるく目的を確認しながら活動していけたらという風に考えています。

以上報告でした。

質問・意見があれば（司会：名取会長）

佐藤（矢巾東小学校校長）委員

学校にお邪魔させてもらい、一緒にやっていきたいなという気持ちでいます。

まず職員の交流が先なのかなと思います。いっぺんには無理ですが例えば一人二人こちらの方の見学をさせていただくことで理解が進みお互いにWinWinの関係になるのではないかと思います。支援の仕方など直に見て教えていただく、それによって支援学校への理解も深まり本当の意味でのコミュニティスクールだったり、自分たちの教育活動にも生かされると思います。

来年度は、職員が交流できるっていう見学段階です。無理せず、ここに来て1時間見て帰るといような計画でいけば、無理なくできると思います。合わせて支援学校の先生方に東小学校の支援学級に来ていただいてこういうものがあれば便利になるなどのアドバイスなどいただければ、職員の交流は非常にいいと思います。

またプランターに花を植えるようなことがある際に、その場所に東小の児童なども来て一緒に植えて、一緒に植えたものが道路の歩道に並べられたら、一緒に活動した実感がわくのかと思います。

それから、校舎裏の体育館の方まで車もバスも入れます。本番を想定した予行練習などを支援学校の生徒さんや児童の方々で見たい方がいれば校庭や体育館まで車で乗り付けて見ていただけるとと思います。

菅原（矢巾町役場）委員

来年度、人権の花ということで東小学校さんに実施していただけることになっていました。プランターと土も人権の花用のものをこちらで準備することになっています。

佐藤（矢巾東小学校校長）委員

もしよろしければ、本校のどの学年か一緒にこちらにお邪魔して植えることもできるかもしれません。

となん支援総務部担当（浅里）

今年度PTAの協力で初めて、花いっぱい運動に参加させてもらったのですが、コロナ感染症

以降なかなかお母さんたちが顔を合わせて何かをすることが出来なかったこともあって他の学年のお母さんたちと花植えをしながら交流ができたと好評でした。またやりたいとの声も出ています。

司会：名取会長

いろいろな花でいっぱいになりそうですね。

先ほどの話の中にあつたスクールコミュニティの話で、前回の時にも話をしたと思いますが、民生委員の研修で『奥中山にあるあのコンビニが日本一障害者に優しい』と話していたので、『この辺りは日本一優しいスーパー』となるように呼びかけたら向こうからも喜んでのってきてくれるのではないかな。その時に車いすが安心して通れるようになど取り組めたら、それこそ WinWin になると思います。

今日の先生方のアンケートのご意見はすごく大事だと思います。子供が中心であるのは当たり前ですがいつも接している先生方の要望などは、今日の議題の中にあつてもいいくらいものだと思います。全部は無理でも校長先生や藤村先生が印象に残るようなものがあれば、それはどうしたら現実的になるのか、みたいな感じでやっていけたらいいと思います。

藤村総括教務主任

アンケートで出された内容を大事にしていきたいと思います。

### (3) 令和8年度学校経営計画(案)資料2

中野校長説明(別紙参照)

## 6その他

・本校児童生徒への応援メッセージ

[浅沼 委員]

先生方からアンケートを取って意見を聞くことは、とてもいいと思います。

人が変わってもできる取り組み方、子供の声をいかにして聴いているか、やれること、できることを一つ一つ重ねていくことが大切だと思います。スローガンだけになってしまわないように続けていくことが大切だと思います。

[近藤 委員]

学校で何をやっているのか、校報の活用はとてもいいと思います。さらに広がっていけば住みやすい暮らしやすい街づくり、誰でも安心して暮らしていけることを目標としている地域ともつながっていくといいと思います。

[佐藤 委員]

一生懸命が伝わってきました。本校や地域の人たちに知ってもらったり、見てもらったりしながら、できることをゆっくりざっくりした形で長く続けられるようにしていきましょう。

[菅原 委員]

のびのびとやっているのが伝わってきました。とても良かったと思います。

[名取 会長]

また子供たちには畑に遊びに来てほしいと思います。民生委員の中にも興味のある方々がいるのでつなげていきたいと思っています。

[佐々木 委員]

先生方の日頃の苦勞や努力を知ることができました。

[工藤 委員]

先生方の数が多いけれども、Ⅲグループの生徒の数も増えていることもわかりました。

[中野 校長]

いろいろとたくさんのいい種をまいてもらい、たくさんの気づきも見えてきました。ゆるく長くいい塩梅で取り組んでいきたいと思っています。みんなにとってメリットになればいいと思います。

学校を使っていただいていい地域づくり環境づくりになっていけばありがたいです。人が変わってもズレずに細く長く取り組んでいけたらと思います。また来年度もご協力いただき引き続きよろしく願いいたします。

## **7閉会の言葉（佐藤（矢巾東小学校校長）委員）**

以上もちまして令和7年度コミュニティスクール第3回、YTプロジェクト！笑顔ワクワク大作戦を終わらせていただきます。ありがとうございました。

上記の内容に、相違ありません。

令和8年 月 日

令和7年度 学校運営協議会 会長

---